

75歳のロッシェニの肖像（ムイユロンのスケッチに基づく木版画）

（水谷彰良コレクションより）

75歳のロッシェニの肖像（ムイユロンのスケッチに基づく木版画）

ロッシェニの姿を頭からつま先までその全身を写した写真は数点確認されているが、肖像画として描かれるケースは稀である。ここに掲げたのは、イタリアの週刊誌『世界画報（*L'Illustrazione Universale*）』（Milano, Edoardo Sonzogno）の著名人肖像コーナー（RITRATTI CONTEMPORANEI）の一頁である（1867年）。これが興味深いのは、不詳の作者が想像で描いたものではなく、1867年にパリの有名な画家アドルフ・ムイユロン（Adolphe Mouilleron, 1820-81）がスケッチしたロッシェニの姿を基に J.ロベール（J. Robert, ?-?）が作成した木版画をそのまま掲載した点にある（同じ木版画はフランス国立図書館にも所蔵 [ark:/12148/btv1b84244200]。図像部分のサイズは『世界画報』と同じ）。

制作が1867年であることは、版画の最下部に彫られた「MOUILLERON DEL J. Robert sc. 1867」から明らかである。『世界画報』は余白に「GIOACCINO ROSSINI. / Da una fotografia del s.g. Bertal.」とあるが、ベルタルの撮影した写真に基づくとする記載はおそらく誤りで、筆者の調べでは同じ構図の写真は確認できず、ムイユロンによる細密でリアルなスケッチが写真をベースにしたと誤解された可能性がある。筆者所蔵はイタリア初出の1867年『世界画報』の1頁（p.37。サイズはオリジナルの36.5 × 26.5 cm）。裏面（p.38）の肖像説明文に、「誰もが気づくように、頭を覆う髪の毛は彼のものではない。ロッシェニは23歳でほとんど禿頭になっていたが、自分のハゲを恥じることは無く、寒さから守るためのベレー帽としてかつらを被っていたに過ぎない」とのおかしな記述がある。



75歳のロッシェニの肖像（*L'Illustrazione Universale*, 1867年）